



Contact

京都市 産業観光局
企業誘致推進室

〔京都〕 TEL:075-222-4239

〔東京〕 TEL:03-6551-2672

e-mail:kigyoyc@city.kyoto.lg.jp



Web サイト
Kyo-Working



最新情報は
こちら

京都市印刷物第070698号

発行:令和7年5月

所屬:京都市産業観光局企業誘致推進室

What if I work and live in Kyoto...

Kyo-Working Book

企業進出ガイドブック

京都で暮らし、
京都から働く、
という経営判断。

京都で暮らし、京都から働く

京都に逗留して、京都から首都圏や海外のチームと協働する。
まちや人、そして都市のすぐ近くに在る自然からのインスピレーションを得ながら、
新しい事業のVisioningに集中する。そんな働きかたが今、着実に増えています。
京都市は、企業の本市への拠点進出を促進するために、
「京都で暮らし、京都から働く」新しいワークライフスタイルを、
「Kyo-working | 京ワーキング」と名付けました。

例えば、
思い切って2週間Kyo-workingをすると決めたら、働きかたはどう変わるだろう。
Kyo-working Breakfastがあるとしたら、それはどんな朝の時間になるのだろう。
創業メンバーでKyo-working合宿をしたら、どんな事業プランが生まれるのだろう。
ホテルにKyo-working Stay プランがあるとしたら、それはどんな滞在になるのだろう。
すでにKyo-workingを実践している方々の周りには、早くもめざましい成果や、
これからの時代にふさわしい働きかたの先進事例が生まれています。

これまで文化都市、観光都市として国内外に評価されてきた側面に加えて、
経営者のクリエイティビティを刺激し、他にはないシナジーを事業にもたらす「ビジネス都市」として、
京都市の新しい魅力を発信してまいります。

企業誘致＝拠点をどこに置くかという目的に立ち返り、京都という都市の「場」が生まれた背景に遡ってカラー選定を行った。平安京の遷都に影響を与えたとされる「四神相応の地」に宿る4つの神、玄武（北）・青龍（東）・朱雀（南）・白虎（西）は、それぞれ黒、青、赤、白の4つの色に表される。この4色を、Googleが提唱したデザインのグローバルガイドライン「Material Design」に昇華させてカラーセットとしている。

京都市の
基本情報



京都の主要
ビジネスエリア



ビジネス拠点としての

京都市の強み

世界に名だたる先端企業、オンリーワン企業
を数多く輩出してきた京都。千年を超える歴史の中で、培われ、磨かれてきた、京都のビジネス拠点としての6つの強みをご紹介します。

- | | |
|--|--|
| 01
伝統と革新から
生まれた
京都ブランド | 02
人材の宝庫・
知の集積地 |
| 03
自然が近い
コンパクトシティ | 04
ビジネス視点での
豊富な京都
ロケーション |
| 05
良好なアクセス&
災害に強いまち | 06
企業立地を
トータルサポート |

01 Kyoto Brand

伝統と革新から生まれた京都ブランド

世界でトップクラスの人気を誇る 抜群の都市ブランド

京都市は、国内外の様々な都市ランキングで上位を獲得するサステナブルな都市。抜群の世界的知名度を誇ります。その京都の知名度が、あなたのビジネス拡大の強力な追い風となります。

また、京都には日本伝統の文化や芸能が今も日常に色濃く息づいています。そうした京都に魅了された多様な人材が、今、京都に集まり、移り住み、新しいエネルギーを生み出しています。京都には、優れた人材がもつエネルギーを獲得できる、そんなチャンスにもあふれています。

2024年世界の
人気都市トップ25

世界
第**3**位

Travel+Leisure
(2023第3位、2022第4位、
2021第5位)

市区町村魅力度
ランキング2024

全国
第**3**位

ブランド総合研究所
(2023第2位、2022第2位、2021第3位)

日本の都市
特性評価2024

全国
第**4**位

森記念財団都市戦略研究所
(2023第5位、2022第2位、
2021第2位)

SDGs
先進度調査2024

全国
第**2**位

日本経済新聞社
(2022第4位、2020第2位、
2018第1位)

クリエイティビティを生む条件が豊富

京都では、千年を超える悠久の歴史の中で、茶道や華道、伝統芸能、伝統工芸、着物、京料理など日本伝統の奥深い文化が培われ、磨かれてきました。そして、そうした京都の文化によって、多くの海外イノベーターがインスパイアを受けて、様々なイノベーションを創発してきたと言われています。

京都は、刺激的な日常が源泉となってイノベーションが起きる、そのようなまちとして、今、注目を集めています。



Steve Jobs

アップル創業者のスティーブ・ジョブズ氏は学生時代より禅に傾倒し、生前、度々京都を訪れていた。



John Hanke

Google マップやポケモン GO などの功績を残した John Hanke 氏は、AR ゲーム「Ingress」の開発について、京都での禅体験にインスパイアを受けたといわれています。

京都は、多くのインスピレーションを与えてくれました。デザイナーやエンジニアになりたい方はぜひ一度住んでいただきたいまちですね。



Notion CEO
Ivan Zhao 氏

世界をリードする革新的な企業を生み出す土壌

平安京以来の歴史の中で育まれた京都の産業は、常に「新しいもの」「より良いもの」を求めて、イノベーションを創発し、最先端産業へと進化してきました。

- 仏壇・仏具の分野から精密機器へ
- 清水焼・京焼などの焼き物の世界からセラミックへ
- 花札からテレビゲームへ
- 酒づくりから薬・バイオテクノロジーへ など

伝統産業から先端産業を生み出した企業の例

- 株式会社島津製作所
- 任天堂株式会社
- 京セラ株式会社
- 宝酒造株式会社
- 株式会社村田製作所

このように、1200年を超える「知の集積」を土台に、世界有数のグローバルテクノロジー企業を輩出してきた京都。近年では、IT企業やコンサルファームなど、先進的なクリエイティブ企業の進出が相次いでいます。

京都市に研究開発・デザイン拠点などを設けた企業

- 2017 株式会社テムザック
- 2018 パナソニック株式会社
LINE株式会社
株式会社サイバーエージェント
Sansan株式会社
株式会社ネットプロテクションズ
- 2019 株式会社マネーフォワード
- 2020 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
ボストン コンサルティング グループ
- 2021 株式会社ギフト
- 2022 スマートキャンブ株式会社
- 2023 株式会社サーチフィールド
- 2024 株式会社たきコーポレーション

優秀な大学があるエリアには優秀な人材がいる。グローバル人材も含め、京都でエンジニアの採用市場や母集団を作りたい。



京都進出企業の
京都拠点長Aさん

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

2020年に京都、大阪、兵庫が、国の進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略・グローバル拠点都市」に選定されました。京都では、行政、経済団体、産業支援機関、大学、金融機関などが一体となり、オール京都で起業家を生み育てる「スタートアップ・エコシステム」を推進しています。

ここ数年は、スタートアップの支援拠点が次々と開設し、行政や民間企業によるアクセラレーションプログラムも充実しています。



「KYOTO STARTUP ECO SYSTEM」
Webサイトへ

京都では世の中の最先端の問題をみつけた
り、最先端の人が感じている違和感に接するこ
とができる。それがビジネスの種になる。



独立研究者、著作家、
パブリックスピーカー
山口周氏

アニメ、マンガ、ゲームなど日本カルチャーを牽引

京都は古くから時代の先端のカルチャーを生み出してきたまちでもあります。日本が世界に誇るアニメーション、マンガ、ゲームなど、先端カルチャーの発信地として、京都ではコンテンツ産業が盛り上がっています。

- マンガを総合的に扱う日本初・日本最大級のマンガ博物館である 京都国際マンガミュージアム
- 西日本では数少ない大規模マンガ・アニメイベント「京まふ」 (「京都国際マンガ・アニメフェア」の略称)
- 世界的に有名なゲーム会社の本社が立地 など

2022年からは、コンテンツ産業のネットワークの更なる連携を促進するプロジェクト「Kyo-CCE-Lab」をスタートし、異業種交流をはじめ、様々な領域でコンテンツの創造・発信等の好循環の創出を図っています。



KYO-CCE Lab
コンテンツクリエイション異業種エコシステム

「KYO-CCE Lab」
Webサイトへ



02 Innovative Resource

人材の宝庫・知の集積地

多様な人材確保や産学公連携が可能な日本最大級の学術都市

京都市には36の大学(29)・短期大学(7)があり、約15万人の学生がいます(うち理工学系の学生が1万7千人、留学生が1万3千人)。また、市民に占める学生の割合は全国トップで大学数、学生数、大学教員数は東京都区部に次ぐ2位となっています。このように、京都市は、新卒人材やインターン生をはじめ、多様な人材の宝庫です。さらに、ノーベル賞受賞者を多く輩出している京都大学の存在は言うまでもなく、京都市立芸術大学をはじめ、6つの芸術系大学が存在しており、京都市は多様な知の集積地です。



京都でインターン中の学生Bさん

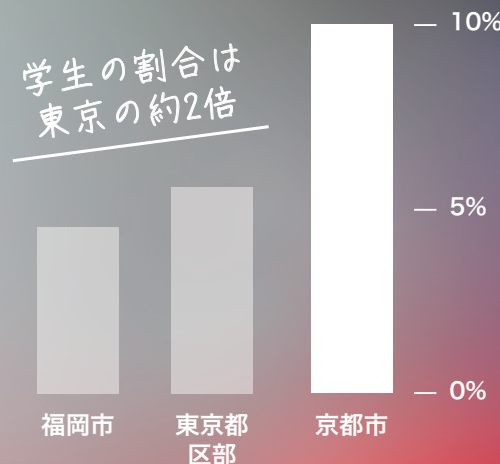
現在のインターン先以外の候補は、全て首都圏企業でのオンラインインターンでした。私と同様に対面インターンを希望する京都の学生は多いです。もっと京都に来る企業が増えれば、学生の選択肢が広がるのに、と思います。

京都への拠点進出後に人材募集サイトでインターン生を募集したら、数名の募集に数十名の応募がありました。学生が多く、首都圏に比べ人材確保がしやすいと思います。優秀な若者も沢山います。



京都進出企業の採用担当者Xさん

市民に対する大学生・院生数の割合



大学数
東京都区部に次ぐ

第2位
(29校)

人口に占める学生の割合

第1位

学生数
東京都区部に次ぐ

第2位
(153,220人)

大学教員数
東京都区部に次ぐ

第2位
(21,703人)

(出典) 大学数、学生数、大学教員数: 学校基本調査 令和5年度
その他: 大都市比較統計年表 令和4年度

国内有数の研究機関が充実、産学公連携も活発

京都市域から京都府南部(関西文化学術研究都市)にかけては、公的な産業支援機関や研究施設とともに、魅力と個性あふれる大学のほか、世界市場で活躍する企業が数多く集積しています。また、企業と大学のマッチングの強化や、理系・文系を問わず、地域の発展に資する京都ならではの多様な産学公連携の推進を通して、イノベーションによる新事業・新産業の創出に対する支援体制が整っています。



京都市産業技術研究所

産業支援機能を持つ機関や研究施設

- 桂イノベーションセンター
(京都大学大学院工学研究科イノベーションプラザ)
- 京都高度技術研究所
- 京都市産業技術研究所
- 京都大学「医学領域」産学連携推進機構
(イノベーションハブ京都)
- 京都知恵産業創造の森
- 京都リサーチパーク
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構
(京大桂ベンチャープラザ北館・南館、クリエイション・コア京都御車)
- ACT京都
- KYOTO Design Lab

など

多数のノーベル賞受賞者を輩出する学術研究都市

京都では、悠久の歴史の中で重層的に堆積してきた様々な文化や哲学、宗教により包摂性が培われ、そのもとで豊かな多様性が育まれてきました。そうした都市の特性が、オープンイノベーションの文化、学術研究が盛んなまちをつくりだしています。世界有数のグローバルテクノロジー企業を輩出し、数多くのノーベル賞受賞者を生み出してきた京都。背景には、こうした京都ならではの特性があります。

- 1949 ○ 物理学賞: 湯川秀樹氏
- 1965 ○ 物理学賞: 朝永振一郎氏
- 1973 ○ 物理学賞: 江崎玲於奈氏
- 1981 ○ 化学賞: 福井謙一氏
- 1987 ○ 生理学・医学賞: 利根川進氏
- 2001 ○ 化学賞: 野依良治氏
- 2002 ○ 化学賞: 田中耕一氏
- 2008 ○ 物理学賞: 小林誠氏
物理学賞: 益川敏英氏
- 2012 ○ 生理学・医学賞: 山中伸弥氏
- 2014 ○ 物理学賞: 赤崎勇氏
- 2016 ○ 生理学・医学賞: 大隅良典氏
- 2018 ○ 生理学・医学賞: 本庶佑氏
- 2019 ○ 化学賞: 吉野彰氏

産学公で企業の成長支援を強化

京都市では、これまで日本政策金融公庫・中小企業基盤整備機構・京都リサーチパークと連携協定を締結し、公的インキュベーション施設を退去する企業に対し、4者で連携しながら市内での成長支援に取り組んできました。2025年3月には、新たに「京都大学」医学領域産学連携推進機構」及び「京都高度技術研究所」に連携協定に加わっていただき、更に連携を強めながら、企業の成長段階に応じた支援を実施しています。



03 Compact City

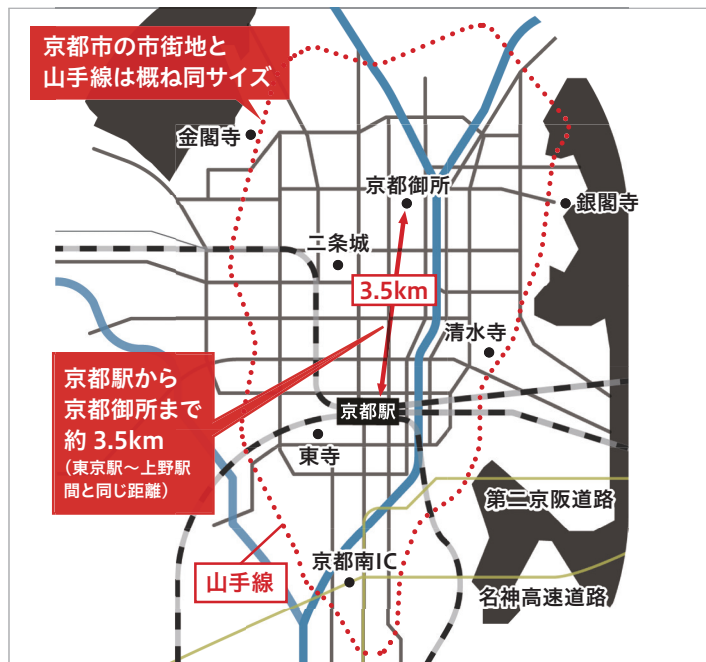
自然が近いコンパクトシティ

ウォーカブルシティとしての魅力

健康増進と環境保全の観点から、近年新しいまちづくりのコンセプトとして世界的に注目されている「ウォーカブルシティ」。京都市内は、職と住が近接しており、多くの人が徒歩や自転車で通勤しています。また、市バス・市営地下鉄・ＪＲ・私鉄の公共交通網も充実しており、歩いて移動できる「歩くまち」です。

さらに、京町家や老舗の歴史的な街並み、個性豊かな喫茶店・書店など、文化性豊かな生活環境を有し、山紫水明の自然環境と全国的にも例を見ない景観政策によって、都市でありながら空が広く、優れた都市景観が守られています。

実は、京都盆地はＪＲ山手線がすっぽり入るサイズ。そんな距離感に京都市の多様な魅力が収まっています。



自転車で移動しやすいコンパクトな街並み

京都の都心部はコンパクトで坂がほとんどなく、道路は碁盤の目状に整備されているため、自転車での移動が便利です。自転車一つあれば、市内中心部のオフィスエリアから少し足を延ばして世界文化遺産や博物館・美術館巡りなど、世界有数の文化を堪能することができます。



豊かな自然環境と里山

京都市は、東山、北山、西山と三方が山に囲まれています。また市内各地に社寺林や庭園、緑地が多く存在しており、人口140万人を超える大都市でありながら、徒歩や自転車で立ち寄れる豊かな自然に恵まれています。

日常の中で、ふと心を落ち着け、安らぎを得る場所、気持ちよく散策できる場所が身近にある環境は、オンとオフを切り替えやすく、仕事もプライベートも充実できる京都の大きな魅力です。



京都洛北大原の里山風景(市街地から車で約30分)

東京都心部と比べて3分の1の家賃

京都市の3LDKの家賃相場は約11万円。東京都23区都心部の家賃と比べると約3分の1とかなり安価です。

さらに市内や近郊であれば通勤時間は30分程度で、ビジネス街・繁華街も至近距離なので、自分の時間を有意義に使うことが可能です。



出典：不動産・住宅サイト SUUMO 家賃相場情報：マンション 3LDK/4K～
(2025年4月時点 京都市調べ)

仕事と家庭だけでない多様なサードプレイス

京都にはコンパクトシティでありながらも、個性的な魅力を持ったエリアがあり、各地に仕事とも家庭とも違う第3の場所「サードプレイス」があります。そこでできたネットワークからビジネスにつながることも少なくありません。



コンテナと長屋で構成される複合テナント施設「SHIKIAMI CONCON」

ー 個性あふれるエリアー

- **梅小路エリア**
滞在型のアーティスト向けホテルや、休眠スペースを改装した飲食店、試作ができるものづくり拠点などがあり、若いクリエイターが全国から集まっている。
- **菊浜エリア**
グローバルなクリエイター、アーティスト、研究者、アントレプレナー等の交流空間。
- **東九条エリア**
「文化芸術」「若者」を基軸としたまちづくりを推進しており、2025年秋には、世界的なアート集団である「チームラボ」のアートミュージアムがオープン。
など

子育て・教育環境の充実

待機児童ゼロを、保育所などで連続12年達成、学童クラブ事業でも連続14年達成(2025年4月時点)するなど、子育てしやすい環境はもちろんのこと、歴史的な文化遺産のほか、博物館やギャラリーなど子どもたちが様々なアート、カルチャーに触れられる質の高い教育環境が、まち中にあふれています。

学校教員の配置の手厚さ (教員一人当たりの児童数)



(出典) 大都市比較統計年表 令和4年版

04 Business Location

ビジネス視点での豊富な京都ロケーション



A 四条烏丸～烏丸御池周辺



B

京都駅周辺



京都駅東部エリア



C

オフィス・ラボ誘導エリア

D

京都リサーチパーク地区



梅小路エリア



E 桂イノベーションパーク地区

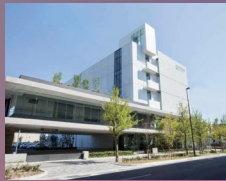


F

らくなん進都(高度集積地区)



東高瀬川ビジネスパーク



G 伏見・横大路地区



H 向島国道1号周辺エリア



オフィス



研究開発施設



工場など

A 四条烏丸～烏丸御池周辺

オフィスや商業施設をはじめとした多様な都市機能が集積し、私鉄、地下鉄やバスなど公共交通網も充実している四条烏丸～烏丸御池の周辺は、利便性の非常に高いビジネスと賑わいの中心地です。コワーキングスペースやシェアオフィスなども充実しています。

また、2019年にオープンした「京都経済センター」には、京都の経済団体等が集結し、様々な知恵が融合した新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供しています。大通りから一筋歩けば、古き良き伝統建築「京町家」が多くあります。最近では、多様な人々とのつながりからイノベーションを生みたいというニーズから、京町家を「集中できる空間」としてリノベーションしオフィススペースとして活用するなど、クリエイティブな人材が多い京都ならではの事例も増えています。

アクセス 京都駅から車で約40分

B 京都駅周辺

京都の玄関口であり最大のターミナル駅である京都駅の周辺は、オフィスビルや商業施設などが集積した、京都有数のビジネスエリアです。

さらに、京都駅東部・東南部エリアでは、徒歩圏内に京都市立芸術大学が移転するとともに、劇場、アート施設などの立地が進んでおり、文化やアートを基軸としたクリエイティブなまちづくりが展開されています。

C オフィス・ラボ誘導エリア

京都駅からのアクセスが抜群で、京都を代表する企業も立地する京都駅南側へのオフィス・ラボの集積を目指し、京都市では京都駅南オフィス・ラボ誘導プロジェクト「京都サウスベクトル」を展開しており、高さ・容積率等の規制緩和や、充実した補助金制度などによる様々な企業の進出を支援しています。

D 京都リサーチパーク地区

京都駅の北西に位置する「京都リサーチパーク」は、IT・医療・バイオ・化学関連企業など約500もの多様な企業が集い、イノベーションの創発に挑戦する一大ビジネス拠点です。地区内には、「京都市産業技術研究所」や「京都高度技術研究所(ASTEM)」などの産業支援機関もあり、手厚いサポートが受けられるほか、多彩なビジネスイベント・交流会などが開催されています。

また、周辺の梅小路エリアには、滞在型のアーティスト向けホテルや、休眠スペースを改装した飲食店、試作ができるモノづくり拠点などが開設されており、若いクリエイターが全国から集まっています。

アクセス 京都駅から車で約5分

ニューノーマル時代の働き方を可能にするワークスペース

市内にはコワーキングスペースやシェアオフィスが数多く存在し、起業家やクリエイター、アーティストやワーケーションの実践者が、気軽にトライできる場が充実しています。市内の各所にまんべんなくあることから、毎日オフィスに出勤せずに、ときには自宅近くで仕事をするなど、ゆとりある働き方が可能です。

経済団体が集結する「京都経済センター」の中に、オープンイノベーションカフェ「KOIN」を設置



E 桂イノベーションパーク地区

市西部に位置する桂イノベーションパーク地区には、産学連携の成果を活用したビジネスに挑戦する中小・ベンチャー企業が入居する「京都大学大学院工学研究科イノベーションプラザ」と「京大桂ベンチャープラザ」があり、京都大学や中小機構等との連携のもと、様々な機関の研究者など垣根を超えたコミュニケーションが日々活発に行われています。

アクセス 京都駅から車で約40分

F らくなん進都(高度集積地区)

市南部のらくなん進都は、世界的シェアを持つグローバルな大企業から独創的な事業を展開するベンチャー企業まで、ものづくりを中心に様々な企業の本社・工場が集積する産業集積エリアです。北寄りのエリアは鉄道駅から徒歩圏内、その他のエリアも京都駅直結のバスが運行しており、名神高速道路や京滋バイパス、国道1号線にも近いなど、市内外への交通アクセスは抜群です。

京都市成長産業創造センター(ACT京都)が立地する、らくなん進都のコアエリアとして、地域の企業経営者が集まり「東高瀬川ビジネスパーク構想」を策定。産業集積、企業コミュニティの創造、都市環境の向上等の戦略を推進し、産学公連携でビジネスパークの構築を目指す。

アクセス 京都駅からバスで15分／名神高速道路(京都南IC)から車ですぐ

G 伏見・横大路地区

らくなん進都に連なる伏見・横大路エリアは、高速道路や主要幹線道路等へのアクセスが良好、大部分が工業地域、といった産業用地として活用しやすい環境が整っており、土地区画整理事業により3,000～6,000坪規模の街区整備を進めるなど、市内では希少なまとまった産業用地の創出が進んでいます。

アクセス 名神高速道路(京都南IC)から車で5～15分／京都駅から車で約30分

H 向島国道1号周辺エリア

市街化調整区域である向島国道1号周辺エリアを地域未来投資促進法に基づく重点促進区域に指定したうえで、地区計画などの制度も併用しながら産業用地の創出を進めています。

本エリアの隣接地域であるらくなん進都に集積する運送業や製造業者等との相乗効果により、地域物流の効率性や地域住民の生活利便性の向上、新たな企業の立地による雇用の増加が期待できます。

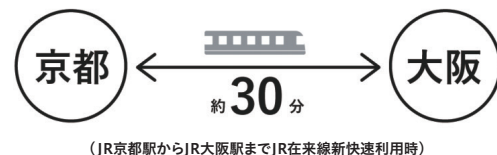
05 Liveability

良好なアクセス&災害に強いまち

東京から新幹線で約2時間、 他都市とのアクセスも抜群

京都－東京・品川間は約2時間、京都－名古屋間は約30分。
日帰りでの往来も余裕をもってできます。
関西にはJR、私鉄各線のネットワークが整っているため、
大阪や神戸、空港などとのアクセスも良好です。

他都市へのアクセス



京都→神戸:約50分 (JR京都駅からJR三ノ宮駅までJR在来線新快速利用時)
京都→名古屋:約35分 (JR京都駅からJR名古屋駅までJR新幹線のぞみ利用時)

Information 京都市の基本情報

人口	1,448,964人	東京都区部・政令指定都市21都市中	第9位
市内総生産構成比(上位3)	製造業24%、不動産業12%、卸売・小売業10%		
市内労働者の構成比(上位3)	医療・福祉16%、卸売・小売業15%、製造業14%		
市内総生産(GDP)	総生産額(名目値)6.6兆円		

(出典)人口:大都市比較統計年表 令和4年度
市内総生産構成比、市内総生産:令和3年度京都市市民経済計算
市内労働者の構成比:令和4年度就業構造基本調査集計結果

BCP(事業継続計画)の観点からも魅力的

地下構造調査の結果、京都市内の被害が大きくなるのは、南海トラフ大地震、花折断層の地震です。国の「地震調査研究推進本部」では、花折断層のM7.5以上の地震発生確率は30年以内に、0.0～0.6%と想定されています。また、南海トラフ大地震で懸念される津波被害も、内陸の京都市には被害想定はありません。
NTTが本社機能の一部を設置し、京西テクノスが京都本社の設置を発表するなど、京都市は災害等に対するレジリエンス向上の観点からも選ばれています。

周辺空港までのアクセス



大阪国際空港:約55分(リムジンバス)

高速道路へのアクセス

名神高速道路:京都南IC/京都東IC
第二京阪道路:城南宮北・南出入口(IC)/鴨川西・東出入口(IC)
京都縦貫自動車道:大原野IC/沓掛IC

06 Support

企業立地をトータルサポート

市内に本社、生産拠点、研究所、オフィス等を立地する企業や、大規模テナントオフィスビルやレンタルラボを
新增設する事業者に対して、補助金による資金面の支援のほか、現地見学などのサポート、用地や人材の確保
に向けた支援など、ハードからソフトまで様々な充実したサポートを、ワンストップ対応で行っています。

支援制度に関する
詳細はこちら



市内に進出・市内で事業拡大する事業者様向け

お試し立地支援制度

市内進出検討のため、市内の
コワーキングスペースやシェア
オフィスなどを利用する場合に、補
助金を交付します。

補助金
(利用料+交通費)×1/2
最大50万円
海外企業は最大100万円

オフィス・用地確保支援

希望条件をお聞きしたうえで、不動産
事業者と連携し、オフィス床、産業用地、
京町家などの不動産情報を提供します。

現地視察コーディネート

京都進出検討の現地視察の際、希望
に応じて視察先などをコーディネート
します。

市内初進出支援制度

市内に初めてオフィスなどを構え
る場合に、補助金を交付します。

補助金
市内居住の
正社員数×最大80万円/年度×2年
最大5,000万円

本社・工場等新增設等支援制度

製造業・IT等の企業が、本社機能を有す
る事業所・工場・研究所・開発拠点を新
増設する場合に、補助金を交付します。

補助金
新增設に伴い新たに課税された
固定資産税等相当額(土地除く)最大3年間分など
最大1億円
市内初進出の場合、さらに加算有

スタートアップへの支援

成長ステージに応じた
様々な支援を行います。



人材確保支援

学生との接点づくりのお手伝いなど、
人材確保に向けた支援を行います。

産業支援機関による支援

京都高度技術研究所や京都市
産業技術研究所、京都リサーチ
パークなどによる伴走支援を行
います。

テナントオフィス・レンタルラボを 新增設する事業者様向け

大規模テナントオフィスビル 立地支援制度

賃貸用オフィス部分が3,000㎡以上
のテナントオフィスビルを新增設する場
合に、補助金を交付します。
※対象エリアに限る

補助金

新增設に伴い課税された
固定資産税等相当額(土地除く)5年分
最大3億円

レンタルラボ施設 立地支援制度

賃貸用ウェットラボを新增設する場合
に、補助金を交付します。

補助金

新增設に伴い課税された
固定資産税等相当額(土地除く)5年分
最大3億円

ワンストップ 伴走支援

進出の検討段階にかかわらず、京都への進出に関する
様々なご相談に職員がワンストップで応じます。

お問合せ先

京都市 産業観光局 企業誘致推進室(平日8:45～17:30)
[京都] TEL:075-222-4239 [東京] TEL:03-6551-2672
MAIL:kigyoyc@city.kyoto.lg.jp



京都への進出のサポート例

京都市は進出前から進出後に至るまで手厚くサポートします。

市だけでなく、様々なサポーター機関と連携し、一緒に寄ってたかって進出企業を支援します。

オフィス・ラボ、採用など、分野を問わず相談していただけます。

進出前 ビジネス都市京都を巡るKyo-working Tour

京都への進出を検討中の企業等を対象に、企業の希望に応じて、京町家を活用したオフィスやコワーキング施設等を巡る「Kyo-working Tour」を実施しています。ツアーの途中で進出企業との交流もあり、進出に対してより明確なイメージを持つことができます。



町家を活用したコワーキングを運営する「Garden Lab」

進出後 市と連携する様々なサポーターへの中継

520社・6,000人が集まるオフィス・ラボの集積地「京都リサーチパーク」、地元金融機関が運営する共創施設「QUESTION」、スタートアップのモノづくりを支える「Monozukuri Ventures」等、様々な支援機関へと中継します。



京都信用金庫が運営する共創施設「QUESTION」

進出後 定期的な進出企業と学生の交流イベント

京都に進出した企業と京都で学ぶ学生が交流する「Kyo-working Community交流会」を実施しています。進出企業と学生が集まり、ワークショップと懇親会を通して、企業・学生双方の視点から「京都で学ぶ・働くということ」「自分らしい働き方」について語り合い交流を深めることで、京都での人材獲得を支援します。

実際に交流会からインターンシップの参加につながったケースも

個別にヒアリングを行い、課題解決の手助けを行う「個別相談会」も実施中！



Kyo-working交流会 [進出企業×学生] 2024年12月

進出企業の声

株式会社ストライク/
East Ventures

優秀な若手人材が集まる京都！地域交流も積極的

京都には有力な大学が多く、ノーベル賞受賞者も多数輩出していることから、学生起業家のポテンシャルの高さにはかねてより目を付けていました。弊社は、M&A仲介・コンサルティングの企業ですので、これは進出の大きなポイントでした。進出を決めてからは、補助金や各所の紹介など、京都市がとても親身に対応してくれるだけでなく、地元の金融機関も友好的で、まちに根付いた人間関係の輪が広がっていくを感じています。

株式会社ストライク
代表取締役社長
荒井 邦彦さん



East Venturesの投資先には学生起業家も多く、京都大学、同志社大学、立命館大学などでも成功の事例が多くありました。そこで京都にシェアオフィス「Hive Kyoto」を開設し、現在5社のスタートアップが入居しています。若い起業家同士が相互に切磋琢磨し、成長とイノベーション創出を図るというコンセプトです。定期的にイベントも開催し、学生や地元の銀行・企業の方との交流を促進しています。

East Ventures
パートナー
金子 剛士さん

株式会社
サーチフィールド

クリエイティブの土壌豊かな京都で、広報力のある京町家をオフィスに

進出の検討時だけではなく、京都進出を決めた後も、京都市職員の方が当社の東京オフィスまで来て、様々な相談に乗ってくれました。こういったフォローは、進出後も続いており、心強く思っています。京都市は、当社の専門分野であるゲーム・漫画・アニメといったコンテンツ産業の振興に力を入れているので、今後何らかの形で協業できれば、と新しいビジネスの可能性も感じています。

代表取締役
中山 直人さん

せっかく京都に拠点を置くのだから、「京都らしくて広報力のあるオフィスにしたい」と希望して京町家を選びました。場所は近年開発が進んでいる菊浜エリアですが、鴨川沿いの閑静な環境に立地しているため、制作管理の仕事に適しています。折々にイベントも開くので、駅や繁華街に近いことも良いですね。また、2階や別棟を民泊として運用し、その収益を活かせるのも大きな魅力です。

取締役COO
笹淵 久子さん

